

『時事直言』 No.1466 2021年3月19日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[twitter 日本語] t_masuda2019/

[instagram] t_masuda2019/

[mail] info@chokugen.com

[twitter 英語] T_Masuda_eng/

[Youtube] 増田俊男チャンネル/



時事評論家 増田俊男

FRB（連邦準備理事会）の意志を知れば明日の株価が正確に分かる

私は、ニッケイ 225 の先物 SQ(3/11)の日にニッケイ先物のロールオーバーや個別銘柄、その他指標の持続、又は買い増しを勧め、次のターゲットは 30,500 円だと言った。

投資家は、ほぼ全員私のアドバイスに従って買ったがコストはニッケイ平均ベースで 29,750 円であった。

ところが 3 月 11 日後、日米株価は 10 年物米国債利回りが上昇を続けた為インフレ進行を懸念して緩和メリットのハイテク主導で大きく下げ、ニッケイも 29,000 円を割るところまで下げた。

投資家の皆様は、30,500 円は到底無理と考え、少々の損は覚悟で損切りをしようと思うがどうかとの問い合わせが殺到した。

私は、売っているのはヘッジファンドで、やがて買い戻さざるを得なくなるのが分かっていたので、ナンピン、又は買い増しを強くお勧めした。

私の言うことを聞かず売ったのは、私の知る限り 2 名であった。（売っても言わない人がいたかも知れないが）

ほとんどの投資家は私のアドバイスに従って買い増し、コストをニッケイ平均ベースで 29,500 円以下に下げた。

3 月 10 日から私は何日間も FOMC(FRB の政策決定会合)の結果が出る 3 月 18 日に重大な連絡をすることを伝え続けた。

昨日 3 月 18 日東京市場が始まる前から、「連絡を受け取り次第、総て売却しポジションをゼロにして下さい」と何度も通知した。

18 日ニッケイ現物は 500 円以上上げて私のターゲット 30,500 円に達し、先物は現物より低い 30,330 円まで上がった。

「売り指令」を繰り返し送ったのですべてのニッケイ先物の投資家は 30,330 円から 30,250 円の間で売却出来ていることが分かった。

29,750 円がコストだから、最高 580 円、最低 500 円の利幅を得た。

90 枚の高額投資家も多くいるが 7 日間で約 5,000 万円儲けたことになる。

「売ると言うことは、これから下がるということですね、ではどこまで下がるのですか」と聞かれたので「元の木阿弥」の 29,750 円まで下がるとお答えした。

本日 3 月 19 日、ニッケイは急落、29,720 円で始まり午前 11 時 29,750 円、SQ(3/11)後のコストに戻っている。（午後 1 時半現在 29,600 円台まで下がっているが 700 円台に戻る）

正に「元の木阿弥」である。

私は 3 月 17 日の「時事直言」に FRB のパウエル議長と黒田日銀総裁が何を言うかを書いた。

18 日ご両人は私が書いた通りのことを述べた。

そしてご両人の表向きの経済楽観論で株価が上がり、翌日の本日その真意が分かって株価が下がった。

私は FRB や日銀がモノを言う前にその真意が分かるので、株価は私が買えと言うと翌日上がり、売れと言うと翌日下がる。

少し時間とお金（家族で高級レストランに行くくらい）がかかるが、「増田塾」でニッケイが 38,900 円になる日や、日米経済が「恐慌」に陥る日を知る為には勉強することをお勧めする。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、
事前にマスタ U.S.リサーチジャパン株式会社（FAX：03-3956-1313）までお知らせ下さい。